

検証意見書



2025 年 12 月 9 日
意見書番号：SGS25/070

株式会社安川電機
福岡県北九州市八幡西区黒崎城石 2 番 1 号
代表取締役社長
小川 昌寛 様

検証目的

SGSジャパン株式会社（以下、当社）は、株式会社安川電機（以下、組織）からの依頼に基づき、組織が作成した検証対象（以下、GHG等に関するステートメント）について、検証基準（ISO14064-3:2019及び当社の検証手順）に基づいて検証を実施した。本検証業務の目的は、組織の対象範囲にかかるGHG等に関するステートメントについて、判断基準に照らし適正に算定・報告されているかを独立の立場から確認し、第三者としての意見を表明することである。GHG等に関するステートメントの作成及び公正な報告の責任は組織にある。

検証範囲

検証対象は、Scope1 及び Scope2、Scope3、取水量、廃棄物発生量である。
対象期間は 2024 年 3 月 1 日～2025 年 2 月 28 日である。
詳細な検証対象範囲は別紙参照。

検証手順

本検証業務は、検証基準に則り、限定的保証水準にて次の手続きを実施した。

- 算定体制の検証：検証対象の測定・集計・算定・報告方法に関する質問、及び関連資料の閲覧
- 定量的データの検証：入間事業所及び八幡西事業所の現地検証及び証憑突合、本社でのその他検証対象範囲に対する分析の手続き及び質問

判断基準は、温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル（Ver. 6.0）、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律、サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン Ver. 2.7）及び組織が定めた手順を用いた。

結論

前述の要領に基づいて実施した検証手続の範囲において、組織のGHG等に関するステートメントが、判断基準に従って、算定及び報告されていないと認められる重要な事項は発見されなかった。
なお、当社は、組織から独立しており、公平性を損なう可能性や利害の抵触はない。

SGSジャパン株式会社

神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町 1 3 4
横浜ビジネスパーク ノーススクエア I
ビジネス アシュアランス
認証・認定統括責任者

竹内 裕二

別紙

2025 年 12 月 9 日
意見書番号：SGS25/070

検証対象範囲の詳細

検証対象		検証範囲	GHG等に関するステートメント
1	Scope1, 2 (エネルギー起源CO ₂ 排出量) ※敷地外の移動体の燃料は除く	組織及び連結会社 100拠点 (生産拠点 30、非生産拠点70)	Scope 1 : 6,846 t-CO ₂ Scope 2 : 34,160 t-CO ₂
2	Scope1 (非エネルギー起源CO ₂ の内、ドライアイス及び冷媒フロン類漏洩量*1)	①ドライアイス : 2拠点 ②冷媒フロン類 : 21拠点	① 282 t-CO ₂ ② 636 t-CO ₂
3	Scope 3 (カテゴリー11)	組織及び連結会社	35,345,690 t-CO ₂
4	取水量	組織及び連結会社 71拠点 (生産拠点 25、非生産拠点46)	270,908 m ³
5	廃棄物発生量	組織及び連結会社 66拠点 (生産拠点 25、非生産拠点41)	3,647 ton

*1 : 冷媒フロン類漏洩量の算定期間は、2024年4月1日～2025年3月31日